



赤ちゃんの健やかな成長をかなえてあげて下さい。

Pathways
.org

Pathways.orgはセクション501(c)(3)該当の非営利団体です。

標準的な言語発達*

早期発見が最高の
予防法です。

大事な親への提案

- 心配事や気が付いたことをノートに記録する。
- この図表を見直し、子どもの様子をチェックする。
- 心配事、この図表、記録をお子さんの医師や医療専門家に話す

「標準的な発達」と「注意すべき様子」の箱両方にチェックをしてもかまいません。

ヶ月までに

- 食事時に上手に吸い、飲み込む。
- 音や声に反応して、静かになったり笑ったりする。
- 泣く他にクークー言ったり、声を出す。
- 音のする方向に頭を向ける。

ヶ月までに

- 喃語を発する際に、子音を使い始める。
例「ダダ」
- 注意を引くために、喃語を使う。
- シリアルや裏ごしした食べ物を食べ始める。

ヶ月までに

- 音に多様性や喃語に音節の組み合わせが増す。
- 名前が挙げられると、親しみのある物や人を見る。
- 幼児用や茹でてつぶした離乳食を食べ始める。

ヶ月までに

- 「ママ」や「ダダ」を有意語として使う。
- 単純な命令に反応する。 例「ここにおいて。」
- 社会的なコミュニケーションにおいて、ちんぷんかんぷんな（訳のわからない）言葉を長々とつなげて発する。
- 上が開いているコップを使い始める。

ヶ月までに

- 5から10語から成る語彙。
- 新しく親しみが少ない言葉を真似する。
- 50語理解する。
- 荒く刻んだ離乳食の種類が増す。

Pathways.org

Pathways.orgはセクション501(c)(3)
該当の非営利団体です。

*早産の場合、子どもの年齢を訂正することを覚えておいてください。

標準的な遊びの発達*

仰向けに寝ている時に

- 左右に動くおもちゃを目で追う。
- 胸の上で握られているガラガラに手を伸ばそうとする。
- 人の顔やおもちゃを見ようと頭を中央に保つ。

標準的な身体の発達*



腹這いの時に

- 両腕で押し上げる。
- 頭を持ち上げ、その状態を保つ。

- 腹這いの時に、近くにあるおもちゃに手を伸ばす。

仰向けの時に

- 片方の手からもう片方の手におもちゃを移動する。
- 足で遊ぼうと両手を伸ばす。



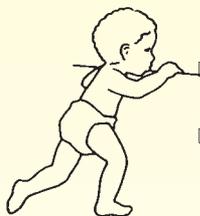
- 座る時に自分を支えるために両手を使う。
- 寝返りをうつ。
- つかまり立ちの時に、両足で全体重を受ける。

- 幼児いすで、哺乳瓶を手を持ち、哺乳瓶から飲む。
- 両方の手を使って、物を探り、調べる。
- 分厚い（厚紙）の本の数ページを一度にめくる。
- 簡単な遊びで、他人の真似をする。



- 倒れることなく座り、おもちゃに手を伸ばす。
- 寝ている状態から座る。
- 腕と足の動きを交互に使い、這う。

- 指でご飯を食べる。
- 口が広い入れ物に物を入れる。
- 小さいものを拾うために親指と人差し指を使う。



- 掴り立ちをして、家具に沿って歩き回る。
- 独力で立ち、自分で数歩歩く。

- 2つの物やブロックを重ねる。
- 脱衣する際にお手伝いをする。
- コップを持ち、コップで飲む。



- 独りで歩き、めったに倒れない。
- しゃがんでおもちゃを拾う。

身体発育で注意しなければいけない様子*



- 頭を持ち上げることが困難である。
- 足が硬く、動きが少ないか又は全く動きがない。



- 頭で押し進む。
- 手を拳骨にした状態で、腕の動きがない。



- 背中が丸まっている。
- 頭を持ち上げることができない。
- 首のすわりが悪い。



- 手を伸ばそうとして腕を前に持ってくるのが困難である。
- 背中を弓形にし、両足を硬直させる。



- 腕が後ろに向いている。
- 硬直した両足。

- 主に片方の手を使う。
- 丸まった背中。
- 座っている時の両手の使用が乏しい。



- 這うのが困難である。
- 動こうとして体の片側だけを使う。



- 背中を真っ直ぐに伸ばすことができない。
- 両足で体重を支えることができない。



- 足が硬直しているか又はつま先が突き出ているため、立ち上がることが困難である。
- 両腕だけを使って掴まり立ちをする。



- 片側に体重が偏っている状態で座る。
- 強く収縮しているか又は硬く伸ばした腕。
- 座っているために、手を使う必要がある



- 独りで歩くことができない。
- 立位姿勢のバランスが悪く、頻繁に倒れる。
- つま先で歩く。

親からの話

出生時

アビーは臨月で生まれ、摂食が難しく、低筋緊張で、首がすわっていませんでした。家庭医を最初に訪れた際に、染色体異常と診断され、直ぐに理学療法と言語療法を紹介されました。アビーの行動能力と言語能力はめざましく進歩しました。現在16歳ですが、幸せて活発なティーンエイジャーです。私達は、家庭医が早期に小児理学療法と言語療法を紹介してくれたことに感謝しています。

James & Brenda A.

2～3ヶ月

ジェフリーは、平穏な妊娠の後42週目に生まれました。3ヶ月の時に、彼は腕で押し上げることができず、うつぶせの状態でも頭を持ち上げることが困難でした。私達は、小児科医に相談し、発達行動を専門にする小児科医に紹介されました。ジェフリーは、現在10ヶ月ではっきりとした診断は下されていませんが、うつぶせの状態でも腕を押し上げ、両手と両膝で立ち上がることができます。私達は、彼が必要としている助けが得られているとわかっています。

Robert & Cindy P.

4～5ヶ月

レイチェルは、逆子で、誕生時に胎便吸引を経験しました。4ヶ月の時までに、彼女は頭を持ち上げることもなく、手を使うこともありませんでした。レイチェルがより上手な身体動作を学べるよう小児科医が州の早期介入プログラムを紹介してくれました。現在4歳半になりますが、歩くことを学び、近所の学校に通っており、可能性を最大限に発揮しています。

Frank & Jenni S.

6～7ヶ月

ジェイソンは、8週早く生まれ、オムツを当てるのがいつも困難でした。両足が硬直していて足を開かせることが困難でした。6ヶ月の時に、私達が彼を座らせようとすると、後ろに弓形に体をそらせました。8ヶ月の時には、自分で座ることができませんでした。家庭医が、理学療法も含む早期介入プログラムを紹介してくれました。ジェイソンは、今では、独りで歩くことを学んでいます。

Larry & Pam R.

8～9ヶ月

マットは、双子の2番目ですが、腹這いになるのを嫌がりました。彼は、9ヶ月の時にでさえ、双子の兄が居間の家具の間を歩き回っている中、足で体重を支えることができませんでした。小児科医が発達行動を専門にする小児科医と早期介入サービスを紹介してくれました。マットは、理学療法を9ヶ月の時に始めました。15ヶ月の時に、第1歩を歩きました。2歳の誕生日には、もはや治療を受ける必要がなくなりました。

Mike & Terry S.

10～12ヶ月

クリストファーは、5週早く生まれ、帰宅前の2週間入院していました。最初の1年で、私達は彼が左手ほど右手を使っていないことに気が付きました。掴まり立ちを始めると、右足の進みが遅かったのです。立つ時には、左側に傾き、家具の間を歩き回る時には、右足を引きずっていました。11ヶ月の時に、小児科医は、彼に理学及び作業療法を処方しました。現在、3歳ですが、クリストファーは歩いています。

Bob & Sue D.

子供を持つ全ての方に知っておいていただきたいこと

Pathways.orgのユニークなチャートを使って、お子さんの体の成長と言語の発達を見守ることができます。自分の直感を信じることを忘れないで下さい。お子さんを一番わかっているのはあなた自身だということを自分でもご存知のはずです。赤ちゃんの成長のペースが普通と違うと感じたら助けを求めて下さい。子供はみな学ぶことができます。早く気が付くということが「一番」の予防です。

パスウェイズについて

1985年よりPathways.orgは子供を持つ全ての方々そして医療サービス提供者のため、幼児と子供たちの運動、感覚、コミュニケーションにおける発達を助成し向上させることを使命としています。パスウェイズ・メディカル・ラウンドテーブルは方略的かつ支援的な運営を通じて、その使命を果たすべく力を尽くしています。

Pathways.orgはセクション

501(c)(3) 該当の非営利団体です。

パスウェイズ・メディカル・ラウンドテーブル

共同議長

H. Garry Gardner, M.D., FAAP

John F. Sarwark, M.D., FAAP, FAACPDM, FAOS

委員会

Suzann K. Campbell, P.T., PhD, FAPTA, FAACPDM

Deborah Gaebler-Spira, M.D., FAAP, FAACPDM

Terri Gartenberg, PhD, CCC-SLP

Gay Girolami, P.T., PhD, FAACPDM

Clare Giuffrida, PhD, OTR/L, FAOTA

Karen R. Judy, M.D.

Amy Becker Manion PhD, RN, CPNP

Michael E. Msall, M.D., FAAP, FAACPDM

Michael N. Nelson, PhD

Russell G. Robertson, M.D.

Diane Fritts Ryan, OTR/L

Lori Walsh, M.D.

Rosemary White-Traut, PhD, RN, FAAN

Nina Aliprandi, M.A., Parent

Shirley Welsh Ryan

Pathways.org

質問がありますか？

「子を持つ親が答えてくれる」フリーダイアルにお電話いただくか、またはe-mailにてご連絡下さい。詳しい情報と共に、お住まい周辺のセラピストについてご案内いたします。

1-800-955-CHILD (2445)

Email: friends@pathways.org

www.pathways.org



You Tube™



このメッセージはザ・アメリカン・アカデミー・オブ・ペディアトリックス、ザ・ナショナル・アソシエーション・オブ・ペディアトリック・ナース・プラクティショナーズ、アメリカン・カレッジ・オブ・オステオパシック・ペディアトリシャンズ・アンド・ペディアトリック・セクション・オブ・ザ・アメリカン・フィジカル・セラピー・アソシエーションにより承認されています。

この文書の複写は自由ですが、その場合はPATHWAYS.ORGに言及する義務があります。文書の変更はしないで下さい。著作権2012